

2014 年 10 月 21 日

A 班:金子、田畑、大郷、二郷

遠藤公嗣、河添誠ほか

『労働、社会保障政策の転換を 反貧困への提言』岩波ブックレット、岩波書店、2009 年

1、目次

働く若者たちの現実—違法状態への諦念、使い捨てからの偽りの出口、実質なきやりがい

共同宣提言 若者が生きられる社会のために

- 1.根底から変化した若者を取り巻く環境
- 2.依然として深刻な若者の就労状況
- 3.若者雇用促進法の制定を
- 4.急務の労働者派遣法抜本改正
- 5.人間らしい生き方の実現を
- 6.労働者保護法規を市民の常識に
- 7.若者に社会保障による生活の支えを
- 8.若者の「住む」を保障する

2.著者紹介

- 遠藤公嗣(えんどう・こうじ) 明治大学教授、個別労働紛争、労使関係論、『賃金の決め方—賃金形態と労働研究』
- 河添誠(かわぞえ・まこと) 首都圏青年ユニオン書記長 『「生きづらさ」の限界』(湯浅誠との共編著、旬報社)
- 木下武男(きのした・たけお) 昭和女子大学教授、労働運動論、『日本人の賃金』(平凡社新書)
- 後藤道夫(ごとう・みちお) 都留文化大学教授、現代社会論、『戦後思想ヘゲモニーの終焉と新福祉国家構想』(旬報社)
- 小谷野毅(こやの・たけし) NPO 法人ガテン系連帯事務局長、全日建連帯労組書記長。
- 今野晴貴(こんの・はるき) NPO 法人 POSSE 代表
- 田端博邦(たばた・ひろくに) 元東京大学教授、労働法、『グローバリゼーションと労働世界の変容』(旬報社)
- 布川日佐史(ふかわ・ひさし) 静岡大学教授、労働経済論、『雇用政策と公的扶助の交錯—日独比較:公的扶助における稼働能力の活用を中心に』(御茶ノ水書房)
- 本田由紀(ほんだ・ゆき) 東京大学准教授、教育社会学、『軋む社会』(双風舎)

3.選定理由

1. 不安定な非正規労働者、社会保障の適用もない低処遇の者、ワーキングプアの現実を明らかにしていく。
2. 若者の経済的自立、本当の意味で仕事へのやりがいを感じられるようになっていくためには何が必要かを議論する。
3. 膨大な数の若者の貧困者を生み出してしまった、今、日本の若者と将来の姿について考えていく。